

2月のタイ景気の回復基調が戻りつつある

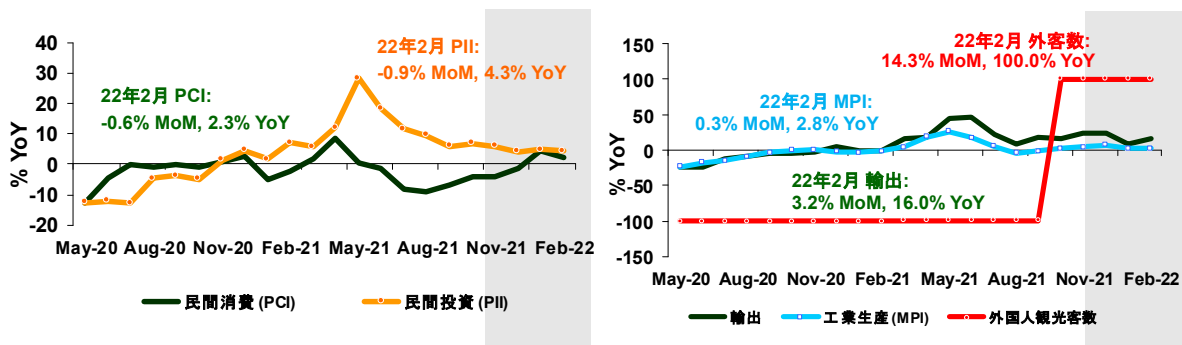
要点

- 2022年2月のタイ経済は、回復基調に戻りました。輸出の伸びが再び2桁台に回復し、民間投資と外国人旅行者も改善しました。しかしながら、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染拡大により、民間消費に影響が出ました。
- 2022年3月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比 5.73%上昇し、前月からプラス成長が続いています。その主な要因は、ロシアによるウクライナ侵攻と、ロシアなどに対する経済制裁によって原材料やエネルギー価格の世界的な上昇がタイ国内のモノやサービス価格を押し上げていることによります。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比 2.0%増で、前月と比べ加速しました。
- カシコンリサーチセンターは、2022年の中国メーカーのタイにおける電気自動車（EV）販売台数が1万台超と予測します。欧米・日本メーカーを大きく上回る見込みです。
- タイ政府がEV購入の優遇策を導入したことで、中国メーカーが日本メーカーなどに先んじて新モデルを矢継ぎ早に投入し、幅広い消費者に訴求する価格を設定することで、EV市場におけるシェアは80%に高まると見込まれます。

タイ経済の動向

2022年2月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2022年2月の重要な経済指標によると、前月の鈍化基調から回復基調に戻りつつあります。輸出の伸びが再び2桁台に回復し、民間投資と外国人旅行者も改善しました。しかしながら、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染拡大により、民間消費に影響が出ました。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports

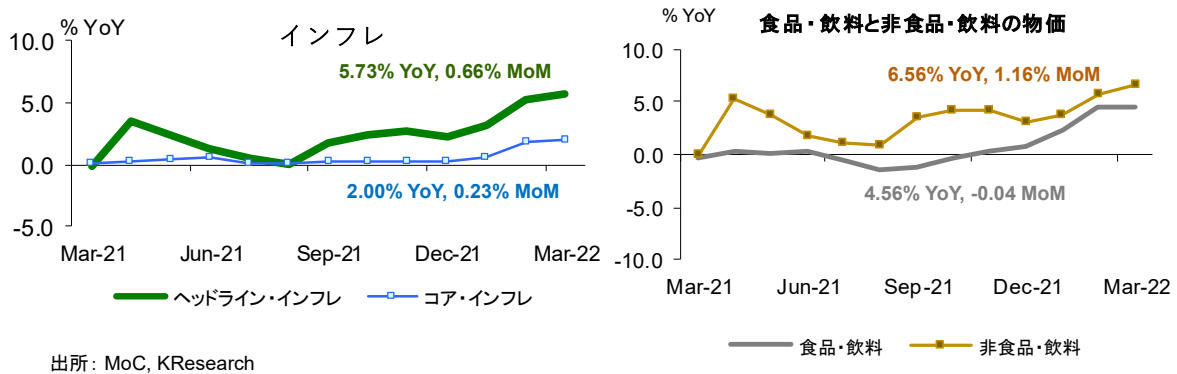
備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

2月の民間消費は前年同月比2.3%拡大しました。旅行者の支出が5.7倍と大幅に伸びたほか、サービスと消費財がそれぞれ14.7%、12.3%の2桁増となりました。しかし、非耐久消費財は4.3%、半耐久消費財は1.4%それぞれ下落しました。

一方で、民間投資は、前年同月比4.3%上昇しました。国内の機械販売が11.7%、商用車の登録が8.5%、建設認可を受けた土地の面積が5.6%それぞれ上昇しました。しかし、機械・設備を中心とした資本財の輸入は4.3%下落、建材の販売も1.5%下落しました。

2月の輸出は、前年同月比16.0%増の234億米ドルとなりました。前月の鈍化基調から再び2桁台の伸びに戻りました。

工業生産に関しては、前年同月比2.8%上昇し、国内外の需要拡大が後押ししました。一方で、観光業では、新型コロナワクチン接種完了者を対象とした隔離なし入国制度「テスト・アンド・ゴー（Test&Go）」を2月1日に再開したことにより、外国人観光客数が増加しました。



商務省が発表した2022年3月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比5.73%上昇し、前月からプラス成長が続いています。その主な要因は、ロシアによるウクライナ侵攻と、ロシアなどに対する経済制裁によって原材料やエネルギー価格の世界的な上昇がタイ国内のモノやサービス価格を押し上げていることによります。

品目別にみると、食品・飲料部門は4.56%上昇しました。調味料が8.16%、総菜類が6.28%、外食が6.15%、卵・乳製品が6.08%、肉・魚が5.74%それぞれ上昇し、全体を押し上げました。一方で、米・粉製品は4.15%下落しました。非食品部門は6.56%上昇。運輸・通信が11.29%と大きく上昇しました。

振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比2.0%増で、前月と比べ加速しました。

## 2022年はタイ市場での中国系のEV販売が1万台超見通し

カシコンリサーチセンターは、2022年の中国メーカーのタイにおける電気自動車（EV）販売台数が1万台超と予測します。欧米・日本メーカーを大きく上回る見込みです。

タイ政府がEV購入の優遇策を導入したことで、中国メーカーが日本メーカーなどに先んじて新モデルを矢継ぎ早に投入し、幅広い消費者に訴求する価格を設定することで、EV市場におけるシェアは80%に高まると見込まれます。一方で、欧州メーカーは購買力の高い顧客を取り込むことなどでシェア2位に食い込むと予想します。ただ日本メーカーは市場開拓が遅れることで、今年のシェア確保が難しいとみられます。

2022年のタイの新車販売台数は前年比8.7%増の82万5000台と予測しているが、ロシアのウクライナ侵攻による自動車のサプライチェーンへの影響が悪化すれば5.4%増の80万台となると予測しています。一方、車載半導体など部品不足が早期に収束すると、販売台数は予測を上回る可能性もあります。車種別では、部品不足の影響が小さく、政府のディーゼル燃料の小売価格据え置き之恩恵を受けるピックアップトラックの販売が伸びる見通しです。

監修：カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。

บริการทุกระดับประทับใจ